

23年度

パドラーズトピックスー5

東日本大震災一ひとつの考え方の報告
気仙沼から(4月9日～4月10日)



先週残した武田邸の庭のゴミ見出しをまず行いました。
ご覧のようにあれだけあったがれきや汚れた家財道具が
きれいに片付けられました。後は庭のヘドロ上げです。
塩害に対して、県立大学の谷口先生を通して同大学の日高伸教授から
次のような指導を頂き、早速武田さんにお知らせいたしました。
その対策をご紹介します。

「家庭の庭程度なら、真水で一度湛水して排水する方法がいいです。まず、石膏を m2 当たり 1～2kg 程度施用し、灌漑と排水を繰り返しますと塩類の溶脱が進みます。目標は pH 7 以下、EC1mS/cm 以下です。」とのアドバイスを受けました。参考までに皆さんにもご紹介しました。



前回はいれなかった幸町や弁天町の火災現場に10日の朝に入ることが出来ました。偶然にも地元ボランティアの畠山さんの車を発見して喜んでいるところです。この地区は何度か見に来たところですが発見できなかったようです。地盤沈下がひどく満潮時には水浸しで通行できなくなるようになりました。



初めての方のために、ししおりの漁船が重なり合っている現場と地盤が90センチも下がった気仙沼港を視察に行きました。見れば見るほど悲惨さが身にしみてきます。

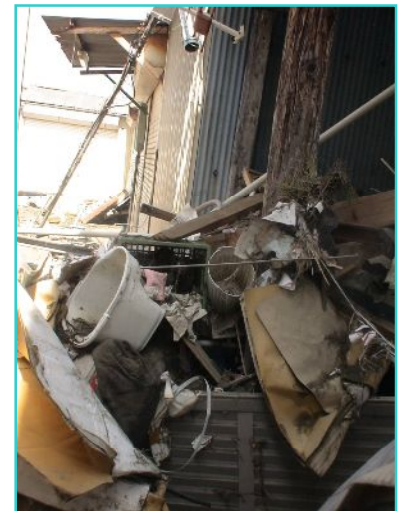


これから多くの時間とお金がかかるのか見当も付きません。
早く復興にめがけ、官民一緒になって努めなければと思います。

先週残した武田眼科医院のヘドロ上げした後の高圧洗浄機による清掃活動の風景です。こんなに綺麗になる



と本当に気持ちがいいですね。
高温高圧であればもっと効果があるようです。
専門的な知識が無ければ無理とのことのようにです。でも通常の水洗いでいいのですが高圧でやれば見る見る綺麗になり、気持ちがいいです。



水に浸かった家具類などはもうカビが生えて腐りかけています。
塩害もありますので、被災された多くの家屋の方には早く水洗いをしてあげたいと思います。

家の中は綺麗でも、武田眼科の裏はこんな状態です。



2回目の気仙沼の仕事は皆さんからいただいた救援物資をししおりの渡辺さんの所にもって行くことと、陸前高田の第一中学校の避難所での

理美容と、ギター演奏の奉仕活動も行うことにしていました。

あいにくの小雨でしたが、粉塵に見舞われなくてある意味ではよかったです。乾いたヘドロが雨でまたどろどろとなる悪循環です。思いっきり雨で流してくれればいいと思いますが下水がまだ普及してないためヘドロがつまる二時災害が起こるのではないかと思います。側溝のヘドロ上げも大事なボランティアになるのではないのでしょうか。



ししおりを後に陸前高田に向かう車の中からの写真です。町には何もありません。津波の脅威をまざまざと見せ付ける被災地の状況です。



この三枚の写真は気仙沼の写真屋さんアートさんから提供された写真で、津波が午後3時21分に来たときから25分までの4分間で地域が水没する光景です。あっという間の出来事です。このことから津波の恐ろしさが分かります。



陸前高田の第一中学校での活動は、ギター演奏とカットの奉仕です。ギター演奏は秋田市の川崎さんをお願いして9日のPM1:00ごろからはじめました。避難所の皆さんが熱心に聴いてくれて少しでも癒されたようでした。

私と高久副理事長は、美容師と理容師でしたので、今回はカット奉仕です。私が最初に担当したおばあさんは、3日前に娘を火葬してきた話から始まり、いきなりの先制パンチです。たまたま岩手朝日放送TVと地元新聞社

の取材が避難所に来ていて取材を受けました。何故このようなボランティアをするのですか？と聞かれ「自分達が何かお手伝いできることがあればしたい。出来ることをしにきました。」と答えたらカットしている二人の方が涙を流して「ありがたいです」と声にならない姿がその日のうちに放映されたそうです。

カットするほうもカットされる方も涙、涙でした。散髪の担当の柳下さんが帰る準備が終わって帰ろうとしたら皆さんに挨拶しますので体育館に来てくださいと言われたので行ったら皆さんに感謝され拍手で送られました。私は美容師としてこの仕事を36年してきましたがお礼を言われたことはありますが、拍手されたことはありませんでした。

この高田第一中学校での理美容のボランティアは私達が初めてではありませんが、高久さんも私も普段通りの仕事をしたつもりでしたが、心が伝わったようです。



今回のスタッフです。いい顔していますね